

除電台オプション

製品概要

本製品は、UHF帯 RFIDリーダ・ライタ「UP-100-J2」「UP-200-J2」（以下リーダ・ライタ）のためのオプションです。

タグ（タグ取付品）やタグ操作者人体、リーダ・ライタの近傍に設置されるタグ台や搬送装置などに過度の静電気（約8kV以上）が帯電する（想定される）環境でリーダ・ライタをご利用になる場合、静電気がリーダ・ライタに直接放電することで、リーダ・ライタ内部の部品を破損させる可能性があります。

通常は下記に示すような「静電破壊への対策」をお願いしておりますが、「帯電させない対策」や「放電させない対策」が困難な場合、本オプションをリーダ・ライタ上に設置することで、リーダ・ライタへの直接放電を防止し、破損を抑制できます。

※本オプションの利用により、完全にリーダ・ライタへの直接放電が防止出来るわけではございません。

静電破壊への対策のお願い

一般的な静電気をタグ、人体や近傍機器、筐体等に「帯電させない対策」や人体（特にオペレータの手指など）やタグ等がアンテナに近接する場合は、静電気を「放電させない対策」を行っていただきますよう、お願い致します。

参考として具体的な対策例を以下に列記します。

- ・加湿
- ・帯電防止マット（作業場床、作業台）の利用
- ・帯電防止服、靴の着用
- ・帯電防止リストバンドの利用
- ・組み込む機器、筐体等への帯電防止剤の利用
- ・除電（上記帯電防止対応他、除電ブラシの利用）

使用上の注意事項

機器への直接的な静電放電を完全に防止するものではありません。

静電気による機器故障が発生しない事を、保証するものではありません。

除電台は付属のケーブルでフレームグラウンド（以下、FG）と接続してください。

FGの接続先が近くにない等、やむを得ない場合は、リーダ・ライタに設けられたシグナルグラウンド（以下、SG）端子に接続してください。

SG接続の場合、インターフェースケーブルを経由して上位側の機器に静電気が流れる可能性がありますのでご注意ください。

本オプションを使用すると、リーダ・ライタの通信性能※1が落ちる場合があります。

※1 通信性能は使用するタグにより変わります。

製品構成

本オプションは、除電台本体と、以下の付属品で構成されます。

付属ケーブル(FGケーブル×1、SGケーブル×1)

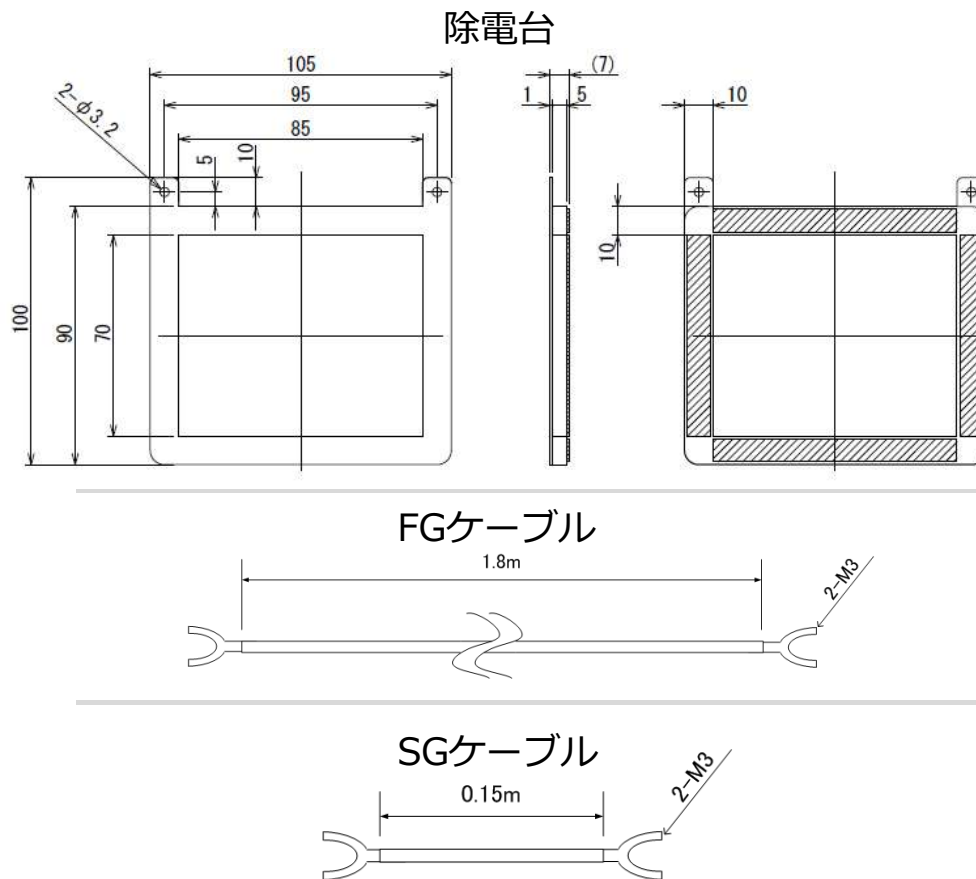
ねじ&ナット(M3、各1)

ご利用のリーダ・ライタの読み取り面に設置して使用します。底面に横滑り防止機能があり、固定方法の検討等は必要ありません。

2本のケーブルで、長い方がFGケーブル(1.8m)、短い方がSGケーブル(0.15m)となります。

それぞれ両端にY型端子(M3ねじ用)が付いています。

外形図



接続

除電は基本的にFG接続を最優先とし、FGの接続先が近くにない等、やむを得ない場合にのみ、SG接続をご利用ください。

また、SG接続の場合、インターフェースケーブルを經由して上位側の機器に静電気が流れる可能性がございますので、上位側機器の静電気対策等をお願い致します。SG接続が原因と思われる上位機器の故障に関しましては保証しかねますので、その旨ご了承ください。

FGケーブルの片側を除電台本体へ、もう一方をお近くのフレームグランドへねじ止めして接続完了となります。除電台本体との接続には付属のねじとナットをご利用し、確実に接続願います。

SG接続の場合は、SGケーブルの片側を除電台本体へ、もう一方をご利用のリーダ・ライタ側面のSG端子へねじ止めして接続完了となります。除電台との接続には付属のねじとナットをご利用し、確実に接続願います。

お問合せ先
info@artfinex.co.jp

TEL : 03-3526-3870
FAX : 03-5289-7352



株式会社アートファイネックス
東京都千代田区内神田2丁目15の9 282ビル5F
https://artfinex.co.jp/

株式会社アートファイネックスは、ソーバル株式会社からRFID事業を2015年3月31日付にて、譲受致しました。